



宮脇ゼミ 丹波篠山訪問

2022年5月29日(日)



ひきこもり支援に関する講義

三宮の幸地クリニックで従事されている中元 精神保健福祉士より



8050問題で注目を集めているひきこもり問題は、現在本人だけでなく家族全体、社会全体の課題として深刻な現状があります。公的福祉サービスは申請主義システムのため、本人によるサービス利用の手続きが必要です。しかし、その手続きそのものが困難である場合、サービスに繋がらない現状があり、制度の狭間にいるケースが少なくないことを教えていただきました。その問題を解決するために、地域の人と協同してサポートできる体制を作り出していく活動に繋がったそうです。

今回訪れた丹波篠山は農地がたくさんあるものの耕す人がいない(人不足)の現状です。一方で、居場所や他者とのゆるやかな関わりの場が必要な人で、サービス利用に繋がらない状況、ここをうまくマッチングしていく仕組みを地域に作られました。丹波篠山という場所に農園を作り、地域の人たちとともにひきこもりの人が活動できる場を作るという、まさにソーシャルワークにおける地域福祉実践について学ぶことが出来ました。



地元の憩いの場である茅葺き屋根(古民家)前で



囲炉裏を囲んで昼食♪

地鶏の炭火焼き
丹波篠山産のお米で
作られたおにぎり
焼きそば どれも絶品でした！



ブルーベリー農園を見学。
何百種類もある品種の中から、ブルーベリーをセレクトする作業は、当事者の人がじっくりとこだわるという特性を活かして、適切な品種をセレクトしたといいます。
農地を貸してくださっている農家の方、NPOの方、地元の支援者。立場は異なってもいろいろな人が関わってひきこもりの人とともにブルーベリーの木を育てる。
今年はじめて収穫の時期を迎えることができました。

収穫したブルーベリーは生食以外にも、添加物不使用のおいしいジャムに加工して販売予定。
売上金は、今後の活動資金として役立てようと計画されています。



中元先生、支援関係者のみなさま、貴重な体験をありがとうございました。

